

ふじみみ 令和元年9月号



(経営理念)

練馬区社会福祉事業団は、人権尊重を理念とし、地域で最も信頼され、喜ばれるサービスの提供を、効率的でバランスのとれた経営を持って行き、区民福祉の向上を図ります。

発行 富士見台デイサービスセンター

～8月の活動報告～

「おはようございます、今日も暑いですね。」「こんにちは、今日も暑いですね。」が毎日の挨拶になっているほど、暑い日が続いていますね。猛暑という言葉がよく似合う2019年夏、9月に入ってもその暑さは暫く続くようなので健康管理には十分気をつけてください。

また、屋外はもちろん、室内でも熱中症になる可能性があります。水分と塩分を上手に摂ったり、エアコンを適切に使用して熱中症予防に引き続き取り組んでください。

さて、富士見台デイサービスセンターでは、夏の暑さに負けず毎年恒例の盆踊り大会を開催しました。“江戸っ子太鼓さん”による、東京音頭、炭坑節、大東京音頭、オバQ音頭、練馬音頭を太鼓の音に合わせてリズムカルに踊りました。また、『富士見太鼓』と呼ばれる演奏では、交互に太鼓を打ち合う場面があり、私たちのハラハラ、ドキドキをよそに、息のあった素晴らしい動きを披露してくださいました。「息のあった動きが凄い!」「少しでもタイミングがズレたら、ぶつかってしまうね」など、たくさんの感想の声が上がりました。



『富士見太鼓』息のバッチリあった披露に驚かされました。



太鼓の音に合わせて、上手に踊られていました。流石の動きですね。



迫力ある太鼓のご披露! 勢いに圧倒される場面でした。

ご希望で浴衣にも着替えていただき、例年以上に盛大なものになりました。来年の夏も開催する予定です。今年以上に盛り上がる盆踊り大会にしたいと思います。来年も一緒に楽しみましょう。



男性の浴衣姿っていいですね。雰囲気抜群です。



子供も大人も所長も? 参加させていただきました(笑)



江戸っ子太鼓の皆様、素敵な太鼓の演奏ありがとうございました。

身につけよう応急手当

～普通救命講習～

石神井消防署の協力により、デイサービスセンターと特別養護老人ホーム合同で普通救命講習を行いました。24名の職員が参加し、応急手当の重要性、心肺蘇生やAEDによる救命処置、止血法や血液感染防止などのファーストエイドと呼ばれる応急手当、救急車の利用方法について実践的に学びました。119番通報してから救急車が到着するまで、東京都内で何分かかかるかご存じですか?平均すると7～8分かかるそうです。この数分間の対応が、かけがえのない命が救えるかどうかのカギになります。今回の講習で『あなたの大切な人を、そして誰かの大切な人の命を救うため』の行動について学ぶことができた私たち職員は、自信と勇気をもって応急手当を行うことができるでしょう。



3時間の講習スタート!!



しっかり声を出して呼びかけること



自信と勇気をもった対応が鍵

普通救命講習は各消防署で定期的に行われています。突然心臓が止まって倒れた人を救命する場面にいつ遭遇するかわかりません。バイスタンダー（その場に居合わせた人）としての応急手当を学んでみてはいかがでしょうか。世界的に通用する応急手当として学ぶことができます。



心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）



AEDの操作方法確認



応急手当を身につけました

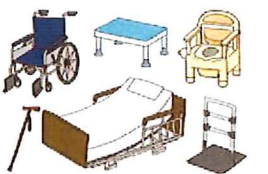
富士見台デイサービスセンターからのお知らせ

9月21日(土)第2回家族介護者教室を開催します。今回は、『正しい福祉用具の選び方と使い方』と題し、福祉用具の有効活用をテーマに行います。

区報の9月1日号にも掲載予定です。興味のある方、是非ご参加ください。

場所：富士見台デイサービスセンター内

講師：(株)東基 福祉用具専門相談員



富士見台デイサービスセンターでは、毎月の活動の様子や機能訓練の情報をホームページのブログでもお知らせをしています。

富士見台デイサービスセンター

富士見台デイ

検索